

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7年 10月 14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島県広島市佐伯区千同2丁目6-29 (電話) 082-924-2567		
自己評価作成日	令和7年9月15日	評価結果市町受理日	令和7年12月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200577-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和7年10月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

活動目標を「地域との交流を大切にします」と掲げ、町内会の行事にも積極的に参加している。町内掃除や、町内会の夏祭りの参加、地域の避難場所の提供、保育園との交流など、入居者様が地域の一員として生活できるように支援している。また、今年から、地域イベント『千同自由区』を開催した。地域の方などの出店があり、ご家族や入居者様、地域の方と一緒に楽しむことができた。また、ホーム内では季節の行事やレクリエーション・お買い物や外出など楽しみを持っていただけるように支援している。インスタグラムを通してご家族・地域の方など、幅広い方々に行事や日々の様子を発信している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念に沿ったケア目標を「利用者・家族・職員も笑顔で過ごせるグループホーム」と定め、職員が順番に月間目標を挙げ実践している。毎月スタッフ会議で検証し、サービスの向上に繋がるよう取り組んでいる。活動目標を「地域との交流を大切にします」と掲げ、町内会に加入し、回覧板や運営推進会議に地域住民の代表者の出席を求める等、事業所の情報や地域の状況等互いの情報共有をしている。保育園園児との交流や公民館の催しに参加したり、ボランティアの受け入れ、家主提供の建物でカラオケ大会等にも参加し交流を深めている。地域の誰もが参加できる「千同自由区」を主催し、町内会の一員として利用者やその家族、職員の地域交流を一層深めている。季節の物や畑で収穫した新鮮な野菜を食材に加え、五感を感じながら3食手作り料理、おやつ、誕生日に好きな物を提供し、食を楽しみながら、笑顔や笑いを感じる支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念をもとにケア目標を考えており、朝礼で唱和し、全職員が意識して実践に繋がっていけるようにしている。	活動目標「地域との交流を大切にします」を掲げ、3年前に職員で見直したケア目標を設定している。朝の申し送り時に唱和し意識づけをしている。毎月職員が順番に具体的な目標を挙げ取り組み、毎月行うスタッフ会議にて達成度の検証を行い、理念に沿った統一したケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	お神輿や保育園との交流、町内の方のお庭見学、カラオケルームの利用をさせていただいている。町内掃除にも入居者様と一緒に参加し、町内会にも入っている。グループホームの敷地にて地域の方ご協力の元、イベントを開催し、入居者様、ご家族、地域の方などたくさんの方が来場された。	回覧板や運営推進会議の参加者から情報提供を受け、清掃活動や秋祭りには子供神輿が立ち寄る等、地域行事に参加している。私設の交流施設でカラオケ等に参加したり、保育園の運動会の見学や園児の来訪、ダンスボランティアとの交流、「千同自由区」の開催等、地域住民の一員としての関係を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方などが見学や相談を希望してもらいやすいように普段から地域の活動等に参加するなどして相談してもらいやすい環境に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、ご家族や地域の方々に参加されて意見交換をおこなっている。会議での意見を参考にしてサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は利用者、家族、町内会会長、地域包括支援センター職員、他事業所職員等の参加で活動状況、身体拘束・虐待について、ヒヤリハット・事故報告等行い情報を共有している。参加者からの意見や助言等、運営の反映に活かす取り組みをしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の議事録は、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、区役所に持参している。	運営推進会議で事業所の状況報告を行っている。地域包括支援センター職員から認知症サポーター講座の案内や、市認知症地域支援推進員から市民公開講座の案内等情報の共有をしている。不参加の時は議事録を持参したり、不明な点の相談や助言をもらう等協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、年に2回は勉強する機会を設けている。また、ホーム内は自由に移動でき、入居者様の安全や防犯の為に玄関を施錠することはあるが閉鎖的にならないようにしている。	法人身体拘束委員会開催時の会議録を閲覧し共有している。研修で動画や身体拘束の3原則を学び、知識を習得し意識づけしている。スピーチロックについて自己チェックシートを用いて不適切ケアや言葉による拘束等振り返り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	勉強会とeラーニングで全職員が学んでいる。日頃の業務、会話の中でも虐待にあたる事はないか話し合っている。また、自己チェックシートでケアを見直す機会を作っている。高齢者虐待に関する相談・通知・届出窓口の掲示をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について全職員がeラーニングで学んでいる。日頃から学んだことを意識し、入居者様と関わっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書、利用約款をもとに説明を行い、ご理解を得てから入居していただいている。また、利用中の改定時にも速やかに説明をおこなっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様には日頃からのコミュニケーションなどから、要望をお聞きしている。ご家族には面会時や電話にて要望をお聞きし、ケアプランに反映するようにしている。また、運営推進会議に出席して下さり、意見をいただいている。玄関には、意見箱を設置している。	面会時や電話、運営推進会議や年1回法人満足度調査や玄関に意見箱を設置し、意見を聴取している。家族から、食事の献立を知りたいという意見があり、玄関先に毎月1週間分の食事写真を掲示した事例がある。日頃の会話から利用者の意見や思いを傾聴し、暮らしの中でのサポートが出来るよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議を月に1回行い、職員の意見を聞いている。管理者とスタッフの距離が近く、日常的に意見・要望を聞くことができる環境にある。	申し送り時、毎月のスタッフ会議、年2回の人事考課の個別面談以外でも管理者とは随時提案や意見等話しやすい環境づくりに努めている。休憩時間や勤務体制等、職員の声として活かせるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課の面接で職員の希望や目標を聞き、働きやすい環境の整備をしている。また、職員がそれぞれ得意な事を活かして力を発揮できるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人本部による研修、施設内での研修もあり、外部研修については案内などを全員が閲覧できる場所に置いて参加できる機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の6つのグループホーム間でお互いの行事に参加する機会がある。また、法人内のグループホーム長会議などで、意見交換をおこなっている。運営推進会議では他法人の同業者に来ていただいたり、こちらも他法人の運営推進会議にいき、意見交換をおこなった。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	法人内の相談員と協働し、今まで関わってこられたケアマネから情報の提供を受けている。また、入居される前に面談をおこない、生活歴などの情報収集をしてご本人、家族様に安心してもらえるよう、信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用前にはご家族、ご本人に見学に来て頂き、ホームの様子を実際に見ていただいている。その際に要望や質問、不安ごとなども聞いて、安心して入居してもらえるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、家族様のお話を聞き、必要と思われるサービスが提供できるように努めている。法人外の歯科往診、理美容カットがあり、以前は訪問マッサージも利用していただいていた。また、法人内の理学療法士の指示の元、個別に機能訓練を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員全員が認知症という病気を理解し、利用者様の気持ちに寄り添い、共に暮らしていくという意識をもってケアにあたるように努めている。入居者様から時には教えていただいております、相互の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族を支援されるだけの立場に置かず、状況に配慮しながら共に本人を支える関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族や親戚、友人、知人と面会や電話、手紙などで関係維持ができるように支援している。また、ドライブなどの時に馴染みのあった場所に寄るなどしている。	親族や親しい知人の面会、暑中お見舞いや年賀状、電話の取り次ぎ、利用者が携帯電話で娘さんにモーニングコールしたり、以前利用していた家族のカントリーダンスの披露や、お正月等には、昔の風習を取り入れた行事等、馴染みの人や場との関係継続の支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事活動やレクリエーションなどを一緒におこない、お互いをよく知り関わりを深め、尊重し支えあえるような支援をおこなっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が気軽に来所されたり、相談を受けられるような関係性を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の希望をお聞きしたり、日々の生活の何気ない会話から思いを汲み取るようにしている。記録し、職員間で共有し、家族様からも聞き取りをおこなっている。	日頃の会話の中から思いや意向の把握をしている。表出の難しい利用者は、家族から生活歴などを聴取し、日頃の様子から声掛けや言葉掛けに工夫をし表情や言動、行動等で思いや意向の把握に努め共有している。お好み焼きを焼きたい、花壇で花づくり等、利用者同士や職員と共に思いを叶えられるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の基本情報やご家族からも生活歴などの情報収集をおこなっている。日常のご様子を記録し共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日の様子を記録し現状の把握をし、職員間で共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	3ヶ月ごとにカンファレンスを実施し、意見交換をおこない、日々の日常生活の中でもご本人から思いを聞いたり、ご家族からも希望やお話を伺っている。	利用者、家族の生活に対する意向を踏まえ課題分析した介護計画を作成している。毎日状況をタブレットに入力している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、見直しが必要か協議をしている。身体状況に変化があれば、医療関係者、理学療法士、職員等の意見や助言を活かした利用者本位の介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の個人の気づきや受診内容、ご家族への伝達事項をタブレットや個人のノートにも記録し共有しやすいようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境の変化により、自粛していたボランティアの行事や外出も再開している。グループホームが主体となっておこなう地域参加型のイベントをスタートさせ、地域との交流活性化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	敷地内にて町内会の方と一緒に野外イベントを開催した。地域の方々と接することのできる機会を作っている。保育園の園児との交流は運動会やハロウィンなど1年を通して数多くあり、秋祭りでは子供会との交流がある。町内会の清掃に参加するなど、積極的に地域との関わりを持つ様にしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人、家族様の要望を聞き、かかりつけ医を決めている。母体が医療法人みやうち廿日市野村病院である為、多くの方がかかりつけ医にされている。変わりごとがあれば直ぐに報告・相談し、受診する体制がある。	契約時、かかりつけ医について説明し、希望の確認をしている。母体が医療機関であるため、殆どの利用者が協力医をかかりつけ医としている。月1回母体の医療機関に定期受診をしている。月1回の協力医療機関の看護師の訪問や、訪問歯科の診療で健康管理を図り、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の関わりの中での情報・変化や気づきを相談できる体制が整っている。必要に応じ、医師の指示をもらい受診の指示を受けるなど、連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前には医師から家族様へ病状説明があり、治療方針をご家族と決めている。入院後には、相談員と連絡をとり、情報交換、共有に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りに関する指針を明記し、入居時と状態が変わった時にご家族にお伝えしている。医師や看護師には、状態の様子をその都度報告し、相談できる体制があり、ご本人・ご家族の思いを踏まえ、より良い支援ができるように努めている。	契約時、「重度化した場合に関する指針」「看取りに関する指針」を説明し、確認をしている。看取りの希望があれば、状態の変化に応じて、家族、主治医、看護師等、多職種で方針を決め、看取り時には訪問看護師の支援を得てチームとして利用者、家族の思いに寄り添い誠意を持って取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応の研修を行い、職員が適切な行動がとれるように訓練している。マニュアルはいつでも確認できるように職員の手に取りやすい場所に設置している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は時間帯や火元場所の想定を変えて毎月行い、全職員が災害時の対応を身に付けられるよう取り組んでいる。BCP（業務継続計画）訓練の実施に繋げる為の机上訓練をおこない、災害時に備えている。	毎月非常時に備え、全職員が対応出来るよう火元を特定しての避難訓練を実施している。年1回洪水災害に備え2階へ垂直避難訓練を利用者参加で行っている。自動火災通報装置には地域の方の電話番号を登録し、運営推進会議で協力要請をする等災害時の体制を築いている。非常時の備蓄品を装備している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎月職員が接遇の目標を立て、入居者様が安心して過ごせるよう職員全員で実行するようにしている。1ヶ月後には職員会議で評価を行い、より良いケアができるようにしている。	人格の尊重やプライバシーを損なう事のないよう、毎月職員は接遇目標を挙げ月末にはスタッフ会議で評価をしている。法人アンケートで良いケアや良い関わり方等職員間で行い、日々の関わり方を振り返っている。気になる点等、指導や注意できる関係づくりに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中でのコミュニケーションから思いを聞き取り、話しやすい環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活リズムを把握し、個々のペースでレクリエーションや家事活動、休養の時間など、希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人がその日に希望される衣類や化粧品、マニキュアなど、ご家族にも協力していただきながら支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ホームの畑で収穫した野菜を取り入れたり、四季を感じていただけるようなメニューを提供している。一緒に食事やおやつの準備などおこなっている。	事業所の厨房で食材に畑で収穫した旬の物を取り入れた手作りメニューで提供している。献立作りから材料選び、下ごしらえ、調理等、(視覚・聴覚味覚・嗅覚・触覚)で感じる食事を提供している。手作りのおはぎやドーナツ、誕生日は好きな物、行事食、外食等、食事を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の形状は個人の嚥下状態や、食べやすさを考慮して提供している。また、好みの物をメニューに取り入れている。水分量が少ない方は、記録し、必要時には、医師に相談している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、声かけや見守り、必要時には、口腔ケアをおこなっている。歯科医、歯科衛生士による、ケア指導・助言を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄状態を記録しパターンをつかみ、早めのトイレの声かけをおこなっている。</p>	<p>個々の排泄記録から排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行い、利用者にあった介助方法で難しい部分を介助する等トイレでの排泄支援をしている。トイレ使用後の手洗いのペーパータオルを流せる物に変更する等自立に向けた支援をしている。便秘予防に乳製品（牛乳・ヨーグルト）や適度な運動をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の記録をおこない、水分摂取（牛乳・ヨーグルト）を提供している。日々、運動を取り入れ、便秘の解消に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の気分や身体状況に柔軟に対応し、定期的に入浴をおこなっている。入浴中は、昔の話などで介護者とのコミュニケーションも活発におこなっている。</p>	<p>週2回午前浴を基本にしているが、体調やその日の気分等で時間帯や曜日を変える等、柔軟に対応している。浴室入口に暖簾や入浴剤、家族が用意したシャンプー、昔の話をする等コミュニケーションを図りながら入浴支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活習慣や状態に応じて声掛けをおこない、自室にて臥床していただいている。室内の明るさ、空調、寝具などに気をつけ、十分に身体を休むことができるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方変更があった時などは、申し送り時や個人ノートで共有できるようにしている。また、個々の薬のファイルがあり、確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居時の情報をもとに生活の中に取り入れられたり、ご本人の得意なことを見つけて実践していただいている。洗濯たたみ、ぬり絵、貼り絵、書道、野菜作り等楽しんでいただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お花見やカラオケ、ドライブ、植物公園、外食などご本人の希望に沿えるよう援助している。ご家族と一緒に墓参りに行かれたり、ご実家を見に行ったりされている。また、地域の方のご協力によりカラオケや地域の行事等にも参加している。	河川敷までの散歩やゴミ出し、コンビニストアの買い物や畑の野菜の収穫を日常的に行っている。集会所の催しでフラワーアレンジメント等へ参加している。少人数で6日間に分けて神社へ初詣に行く、花見に弁当を持って公園へ行く、バラ散歩では道中の車内でソフトクリームを食べたこともある。家族と共に外出等四季折々の行事を通じて支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	近所のコンビニやスーパーで買い物支援をおこなっている。金銭管理については、ご本人やご家族との相談により、決定している。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価		
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時は、電話での支援をおこない対応している。ご本人が携帯電話を持っている方もおられる。手紙も自由にやり取りができ、ご本人が難しい場合は職員が支援している。年賀状や暑中お見舞いは毎年全員が作成して出している。</p>	/		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングにはソファがあり、洗濯物をたたんだり、テレビを見ながら談笑できるスペースとなっている。入居者様が作った季節に見合った壁絵を貼り、季節を感じる事ができる。また、テーブルには、花が飾られ、季節を感じてもらっている。</p>	<p>季節の飾り付け、保育園園児の手紙等壁面に展示している。陽ざしの調節にカーテンを利用したり、照明や換気、空調管理等気を配っている。机や椅子は、家族と相談して利用者の状態に合わせた調整、選定をしている。トイレの表示を分かりやすくし、自立に向けた支援をしている。</p>	/	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共同空間の中にはソファがあり自由に座っていただいている。1階にはウッドデッキもあり、テーブル、椅子が設置されている。気の合う方と一緒に楽しめるよう配慮している。</p>	/		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室では以前自宅で使用していた家具や寝具などを持ち込まれ、慣れ親しんだ生活からかけ離れる事のないようにしている。</p>	<p>利用開始前の居室の訪問をしている。ベッド、エアコン、洗面台等設置している。自宅で使い慣れた馴染みの物、大切にしている物、机や椅子、タンスや仏壇、遺影や金庫等持参している。エアコンが気になる利用者にエアコンを不織布で目隠しをし、眠る前にエアコンを切って眠ってから付ける等工夫をしている。</p>	/	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや自室の場所がわかりやすいようにドアに張り紙をしたり、動線上に危険がないように物の配置は高さなどに気を配っている。居室内ではタンスや引き出しに場所が分かる様にラベルを貼ったりしている。</p>	/		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域との交流を大切にします。」と活動目標を掲げ、毎朝の唱和で確認している。コロナ感染が落ち着き地域の行事、町内との交流を再開している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	お神輿や保育園との交流、町内の方のお庭見学、カラオケルームの利用をさせていただいている。町内掃除にも入居者様と一緒に参加し、町内会にも入っている。グループホームの敷地にて地域の方のご協力の元、イベントを開催し、入居者様、家族様、地域の方などたくさんの方が来場された。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	グループホーム千同の活動や入居者様の様子をお知らせしている。千同自由区ではグループホームの様子を分かりやすく紹介する掲示をした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の会議には、町内会、地主、地域包括支援センター、認知症支援推進員、ご家族・入居者様に参加していただき、意見を伺っている。会議の議事録は、まとめて全ご家族に配布している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議をおこない、意見交換している。会議の議事録は、地域包括支援センター、認知症地域支援員に通知し、区役所に持参している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、勉強会、eラーニングで全職員が学んでいる。不審者対策と入居者様の安全対策のため出られる時には状況によりすぐに開錠する事ができる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会とeラーニングで全職員が学んでいる。日頃の業務、会話の中でも虐待にあたる事はないか話し合っている。また、自己チェックシートでケアを見直す機会を作っている。高齢者虐待に関する相談・通知・届出窓口の掲示をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について全職員がeラーニングで学んでいる。日頃から学んだことを意識し、入居者様と関わっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書、利用約款を基に説明をおこない、ご理解を得てから入居していただいている。また、利用中の改定時にも速やかに説明を行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様には日頃からのコミュニケーションなどから、要望をお聞きしている。ご家族には面会時や電話にて要望お聞きしケアプランに反映するようにしている。また、運営推進会議に出席して下さり意見をいただいている。玄関には、意見箱を設置している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月スタッフ会議を開催している。必要であれば随時話し合う場を設け職員の要望や意見を聞いている。いつでも意見や要望を聞くことができる環境がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課で職員の目標や努力したことを聞いている。勤務日、労働時間などの職員の希望、体調を考慮した安心して働ける環境にある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人本部による研修、施設内での研修もあり、外部研修については案内などを全員が閲覧できる場所に置いて参加できる機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の6つのグループホーム間でお互いの行事に参加する機会がある。また、法人内のグループホーム長会議などで意見交換をおこなっている。運営推進会議では他法人の同業者に来ていただいたり、こちらも他法人の運営推進会議にいき、意見交換をおこなった。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	法人内の相談員と協働し、今まで関わってこられたケアマネから情報の提供を受けている。また、入居される前に面談をおこない、生活歴などの情報収集をしてご本人、家族様に安心してもらえるよう、信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人、ご家族ともに入居前に見学に来て頂き、グループホームでの生活について説明を行なっている。要望や不安があれば聞き取りし、ご家族との関わりも大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その時に必要と思われるサービスを選択し、提供出来るよう努めている。法人外のサービスで訪問歯科、理美容も利用していただいている。当法人の理学療法士による個別訓練を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員全員が認知症という病気を理解し、利用者様の気持ちに寄り添い、共に暮らしていくという意識をもってケアにあたるように努めている。入居者様から時には教えていただいております、相互の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族を支援されるだけの立場に置かず、状況に配慮しながら共に本人を支える関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族や親戚、友人、知人と面会や電話、手紙などで関係維持ができるように支援している。また、ドライブなどの時に馴染みのあった場所に寄るなどしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一緒に生活する中で不満、不安があれば傾聴し、職員が間に入り一緒に解決を目指す。家事活動や趣味活動を通してお互いの理解を深めるきっかけとし、不安なく生活できるよう人間関係の構築をサポートしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も情報の提供や相談など継続しておこなっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の何気ない会話の中から本人の希望や思いを伺い、意向の把握をしている。意思表示の難しい方はご家族からの情報や日々の表情、様子などから汲み取るよう努めている。ノートに記載して職員間で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の情報に合わせて日々の関わりの中で得られた情報やご家族の方、ご友人からも情報収集の協力を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	普段の様子や言動は具体的に記録に残し、いつもと違った様子があれば申し送り、情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月ごとにカンファレンスを実施し、意見交換をおこない日々の日常生活の中でもご本人から思いを聞いたり、ご家族からも希望やお話を伺っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の気づきや変化、出来事などを記録以外にも共有ノートに記入し、情報共有をおこなっている。ケアプラン作成時に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>現在コロナを取り巻く環境の変化により自粛していたボランティアの行事や外出も再開している。グループホームが主体となって行う地域参加型のイベントをスタートさせ、地域との交流活性化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>敷地内にて町内会の方と一緒に野外イベントを開催した。地域の方々と接することのできる機会を作っている。保育園の園児との交流は運動会やハロウィンなど1年を通して数多くあり、秋祭りでは子供会との交流がある。町内会の清掃に参加するなど積極的に地域との関わりを持つ様になっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人、家族様の要望を聞き、かかりつけ医を決めている。母体が医療法人みやうち廿日市野村病院である為、多くの方がかかりつけ医にされている。変わりごとがあれば直ぐに報告・相談し、受診する体制がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員に看護師がおり、変化や気づきを日常的に相談している。また廿日市野村病院の看護師にも相談できる体制になっており必要があれば医師に指示をもらい受診に行っている。退院後や看取りの時には廿日市野村病院の看護師が訪問し、医師との連携体制が整えられている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医師よりご家族へ病状の説明があり治療方針や意向の確認をされている。入院後は相談員と連携し、ご家族に心配なことがあれば職員が直接連絡をしてお話を聞き、安心していただけるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りに関する指針を明記し、入居時と状態が変わった時にご家族にお伝えしている。医師や看護師には、状態の様子をその都度報告し、相談できる体制があり、ご本人・ご家族の思いを踏まえ、より良い支援ができるように努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応の研修を行い、職員が適切な行動がとれるように訓練している。マニュアルはいつでも確認できるように職員の手に取りやすい場所に設置している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	非難訓練は時間帯や火元場所の想定を変えて毎月行い、全職員が災害時の対応を身に付けられるよう取り組んでいる。BCP（業務継続計画）訓練の実施に繋げる為の机上訓練おこない、災害時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎月職員が接遇の目標を立て、入居者様が安心して過ごせるよう職員全員で実行するようにしている。月末には職員会議で評価を行い、より良いケアができるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中でコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるようにしている。自己決定が難しい入居者様にも選択肢を提案し、自己決定しやすくなるような声かけをしている。情報共有のノートで全職員が共有できるようにしている。その情報をもとにカンファレンスが行われケアプランに反映されている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活リズムを把握し、ご本人の希望を確認しながらその日の体調に合わせて、1人ひとりのペースでケアを行う様に心掛けている。食べたい物や行きたい所をお聞きし調理をしたり一緒にお出かけしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意向に沿って洋服を選んでいたり、お化粧品をさせていただいている。訪問美容を利用し、ご希望に合わせカラーやカット、顔そりをして身だしなみやおしゃれをさせていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	旬な食材を取り入れたり、季節に応じたメニューを提供している。野菜の苗の買い出しから収穫までを職員と一緒に、調理して提供している。巻きずしやお好み焼き、お菓子を一緒に作ったり、お皿洗いやお膳拭きなど1人ひとり出来る範囲でお手伝いさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。	食事は一人ひとりに合った量や食事形 態、食器の工夫をして提供している。朝 食にパンを好まれる入居者様にはパンを 提供したり、好みの飲み物を選んでい ただけるようにしている。水分量が少な い時は水分摂取表に水分量を記録し、全職 員が把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後一人ひとりの力に応じ、口腔ケ アの声かけやお手伝いをしている。ご自 身のケアが難しい入居者様にはスポン ジブラシや口腔ケアガーゼを使用し、お 手伝いさせていただいている。また、訪 問歯科から口腔指導も受け、清潔を保 てるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして，トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄状態を記録しパター ンをつかみ、早めのトイレの声かけをお こなっている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲 食物の工夫や運動への働きかけ等， 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便がない時は看護師に腸の動きを確 認してもらい便秘にならないよう牛乳 やヨーグルト牛乳等、水分摂取に努め ている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合 わせて入浴を楽しめるように，職員 の都合で曜日や時間帯を決めてしま わずに，個々に応じた入浴の支援を している。	個々の気分や身体状況に柔軟に対応 し、定期的に入浴をおこなっている。 入浴中は、昔の話などに介護者との コミュニケーションも活発におこな っている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングで過ごされる方、自室で過ごされる方、お一人お一人のペースで過ごしていただいている。声かけにて休息されるかお聞きし対応している。安心して休んでいただける様に室温や明るさ等に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋は職員がいつでも見れるようファイルしている。また、薬の変更などがある時は個人の連絡ノートに記入して申し送りを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居時の情報を基に生活の中に取り入れたり、ご本人の得意なことを見つけて実践していただいている。洗濯たたみ、ぬり絵、貼り絵、書道、野菜作り等楽しんでいただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お花見やカラオケ、ドライブ、植物公園、外食などご本人の希望に沿えるよう援助している。ご家族と一緒に墓参りに行かれたり、ご実家を見に行ったりされている。また、地域の方のご協力によりカラオケや地域の行事等にも参加しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理についてはご本人、ご家族との相談の上、お財布を持たれている。ご本人の希望があれば一緒にコンビニやスーパーでお好きな物を買っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望がある時は電話を繋いで、お話ししていただいている。携帯電話をお持ちの方もおられ支援している。また、暑中お見舞いや年賀状をご本人の手書きの手作りハガキにて出していただいている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者様が作った季節に見合った壁絵を貼り、季節を感じる事ができる。また、テーブルには、花が飾られ、季節を感じてもらっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共同空間の中にはソファがあり自由に座っていただいている。1階にはウッドデッキもあり、テーブル、椅子が設置されている。気の合う方と一緒に楽しめるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはご本人の使い慣れたものをご家族に用意していただいている。また、ご家族の写真やペットの写真等、自由に壁に貼っていただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置している。トイレにはわかりやすく見えやすいよう張り紙を貼っている。居室内は安全に過ごせるように物の配置をし、つまづかないような動線を確認している。また、物の場所がわかるようラベルを貼っている。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 令和7年11月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	小さなことでもヒヤリ・ハットとして扱う意識を統一する。提出率をあげ職員間で共有する。	ヒヤリ・ハット(気づき)を共有し、事故やトラブルの予防につなげる。	小さな気付きも提出するように明示する。月末に提出数と内容を確認する。良かった改善内容を共有する。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。